



「2021 日化協 R C 委員会活動報告会/RC 賞受賞講演会」

..... 次 第

2021年7月6日(火) 13:00~17:30	
WEB開催	
12:45	開場 (アクセス受付開始)
13:00	開会挨拶 (一社)日本化学工業協会 常務理事 尾崎 智
13:05	審査委員長講評 東京大学 工学系研究科 化学システム工学専攻 教授 工学博士 平尾 雅彦 氏
レスポンシブル・ケア (RC) 賞 受賞講演	
13:30	RC大賞 三井化学株式会社 技術研修センター
14:00	RC審査員特別賞 花王株式会社 SCM部門
14:30	RC審査員特別賞 三菱ガス化学株式会社 水島工場 研究技術部
15:00	RC優秀賞 三菱ケミカル株式会社 三重事業所
15:30	RC優秀賞 住化アグロ製造株式会社
16:00	RC優秀賞 宇部興産株式会社 宇部ケミカル工場
16:30	講演:「廃プラスチックのケミカルリサイクルに対する化学産業の あるべき姿」 (一社)日本化学工業協会 技術部 野田 浩二
17:30	閉会
各講演開始時間は、全て記載時間で固定とし、前の発表が早く終了しても繰り上げは行いません。 また途中に休憩時間を設けておりませんが、各講演は、発表15分+質問10分を標準とし、次の講演までに5分程度のインターバル(切換え準備時間)が入る予定です。	

注) 各講演のテーマ・概要につきましては、次頁以降をご参照下さい。

>>>> 講演内容紹介 <<<<

日化協レスポンシブル・ケア賞 受賞講演

レスポンシブル・ケア賞は、レスポンシブル・ケア（RC）活動に携わっている方々の活動意欲の向上と活動の活性化とを目指して、2006年に創設されました。そして2013年度の第8回からは、安全表彰・技術賞と並ぶ日化協3賞の一つに昇格させ、現在に至っております。

具体的には、RCの6コード（保安防災、労働安全衛生、環境保全、コミュニケーション、化学品・製品安全、物流安全）に関する活動の普及や推進に優れた功績を残した 或いは 貢献をした事業所・部門・グループまたは個人を表彰しています。

2020年度は、以下の6件をRC大賞、RC審査員特別賞、RC優秀賞として表彰しました。

【日化協RC大賞】 1件

三井化学株式会社 技術研修センター

テーマ：「三井化学 技術研修センター 体験・体感型研修の取り組み」

活動：生産現場力の維持・強化を目的として三井化学技術研修センターを設立した。現場運転員を対象として開講し、学卒エンジニアや管理社員、三井化学グループ国内外関係会社の従業員を対象を広げるとともに、2015年からは社外にも研修を開放しており、開講以来受講生は10,000名を超えている。コロナ禍の下、感染防止対策を徹底した研修に加え、疑似体験型Web研修も実用化している。

【日化協RC審査員特別賞】 2件

花王株式会社 SCM部門

テーマ：「化学物質リスクアセスメントのための効率的な評価法開発と体制確立の取組み」

活動：花王では、SAICM※ 推進委員会を2012年に設立し化学物質管理活動を継続的に行い、リスク評価と管理手法最適化に取り組んできた。花王Gの生産活動は化学品から家庭品と取り扱う化学物質が非常に多く、迅速かつ正確な判定手法が必要となるが、SDS情報のデータベース化と化学物質リスクアセスメント支援ツールの自社開発により、これを実現した。

※SAICM：Strategic Approach to International Chemicals Management.

第1回国際化学物質管理会議で採択された「国際的な化学物質管理のための戦略的アプローチ」

三菱ガス化学株式会社 水島工場 研究技術部

テーマ：「化学塾 ～化学知識の獲得と安全の感性向上～」

活動：水島工場は、体験型研修「保全塾」で事故、トラブルの削減に取り組んできた。さらに運転員の安全感性を向上させる「化学塾」を2017年に開講した。化学塾は、化学の基礎理論の講義に加え、実験・実習などの体験に重きを置いたもので、化学反応の現象や化学物質の危険性を体験するものである。これにより、運転員の製造設備に対する理解が深まり、運転状態の変化に対する対応力が高まったことでトラブルが削減した。

【日化協RC優秀賞】 3件

三菱ケミカル株式会社 三重事業所

テーマ：「保安事故・ヒヤリハット低減への取り組み」

活動：三菱ケミカル株式会社三重事業所では、中長期経営計画 TRY2020 において「安全」「設備管理」「人材育成」の3つの柱で、ものづくり基盤の確立を図ってきた。その結果、保安事故（トラブル・ヒヤリハット含む）発生件数を93%削減した。本取組みは、事業所で発行し

ているRCレポートにも記載し、地域住民・関係官庁の皆様へ積極的に情報発信を実施している。

住化アグロ製造株式会社

テーマ：「住化アグロ製造の環境負荷低減への取組み」

活動：住化アグロ製造は、中小規模の会社で、さらに少量多品種生産という管理の厳しさがある中、2004年以降、全社一丸となって環境負荷低減に工夫を重ね、2019年度にはCO2排出量を2017年度比で7.8%削減するなど大きな成果をあげている。これらの活動が評価され、2018年には親会社に先立ち、EcoVadisのゴールド評価を取得するなど、環境保全分野で住友化学グループを牽引している会社と言える。

宇部興産株式会社 宇部ケミカル工場

テーマ：「新型コロナウイルス禍における地域対話の継続」

活動：宇部地区地域対話集会は山口西地区対話集会と隔年で交互に継続的に開催しており、今回で第16回を迎えた。企業、行政、学識経験者、市民の他に、学生やNPOなど多様性に富んだ参加メンバーがきめ細かいコミュニケーションをとっている。従来は一堂に会しての開催であったが、今回は新型コロナウイルスリスクを考慮しつつ、地域対話を継続するために初めてWeb（オンライン）開催に挑戦し成功させた。